

架空請求などの
対処法を学ぶ
相馬農高生

県労働福祉協議会の
高校生のための消費者
講座は南相馬市原町区
の相馬農高で開かれ
た。



高校生が消費者知識を
身に付けた講座

年から若者の消費者教
育のための講座を実施
しており、受講者数は
これまでに約八千人に
上るといふ。

今回は同高の一年生

2015.7.9 福島民報

約八十人が参加した。
同協議会ライフサポー
トふくしま専門相談員
の山ノ井茂喜さんが講
師を務め、スマートフ
ォンやインターネット
に関するトラブルにつ
いて説明した。
山ノ井さんは架空請
求などの対処法につい
て、「自分から連絡し
ないことが重要」など
と述べ、知識を身に付
ける重要性を説いた。

県労働福祉協議会は1日、南
相馬市原町区の相馬農高で同校
生徒を対象に「高校生のための
消費者講座」を開いた。生徒た
ちがインターネットなどによる
トラブル被害の防止策などを学
んだ。

契約の知識やクレジットカー
ドの仕組み、インターネットの
マナーやルールなどの知識を高
校生が社会に出る前に身に付け
てもらおうと、2005（平成
17）年から「高校生・若者の消
費者教育と啓発活動」として開
いている。同協議会によると、
これまでに8千人の高校生が受
講してきた。1年生約80人が参

ネット被害防止策学ぶ 相馬農高生



トラブル被害の防止策について
学んだ講座

加した。同協議会のライフサポ
ートふくしま専門相談員の山ノ
井茂喜さんが講師を務め、生徒
たちにインターネットやスマー
トフォン、契約などでのトラブ
ルやその特徴と対応などをアド
バイスした。

2015.7.3 福島民友